

某日

某城下町にて…

なんだこれ…

以蔵

町から離れた農村で百姓をしている。
貧乏生活が長い両親に楽な暮らしを
させてあげたいと思っている。

ルーイन्द
オーガズムで
甘いキする話

浮世絵…
も…でる…?
若い男…

身長五尺五寸
体重十五貫…

報酬三百文も…?
ふーん…

俺には
関係ねえか…

そこのお主!







ううむ頼む！
この通りだー！
お主を描きたーい！！

やっやめろ！

土下座☆



…わかった！
そこまで言うなら
俺なんて
好きなだけ
描けばいい。

金が出るなら
構わん、
勝手にしろ



そうだとこころで
お主、ちんぽは
立派か？

え？

ワシが描くのは
春画だからな

嘘だろ
先に言えよ…



恩にきる！



また気持ちよく
扱いてやろう、ほら、
ここまで腰を伸ばせ

んっ……
んんうっ……ふ……

完全に性器に
脳が支配
されてますね

寸止め続けて
気持ちよく
射精できて
ないからな



男は勢いよく出すと
萎えてしまつて
使い物にならなくなる

しかしワシたちは
長く勃起しつづけて
もらわんと絵が描けん。

だからこうして少しずつ
半端な射精をさせて
勃起を継続させる……

覚えておくと
いいぞ。

はい……

蕩けさせて、
頭の中を勢いよく
射精することだけで
いっぱいにする

ワシの描きたいものは
そんな熱に浮かされた
男の欲じゃ

さつき言ったことは
覚えているな？

ダメだっ

…また
いくつ



無理...ッ!

やだ...

いきたいっ
離せ...!

悶えている姿
良いな!



そのまま、
ゆっくり...
少しずつ
尿を出すように
力を抜くんだ

よし
上手くなった
じゃないか

っっ...は...っ

はあ...

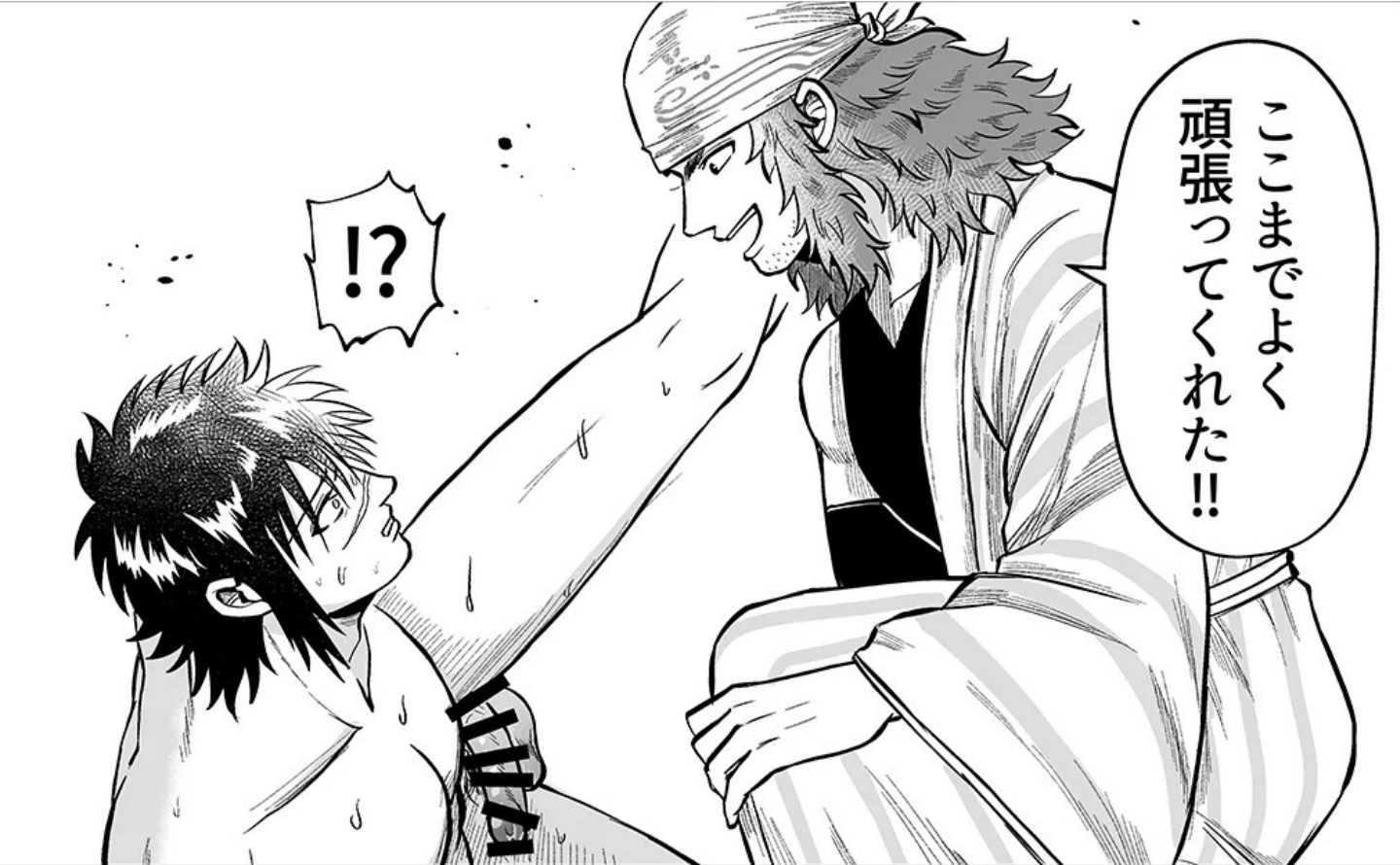


以蔵殿の手を
後ろで縛れ!!

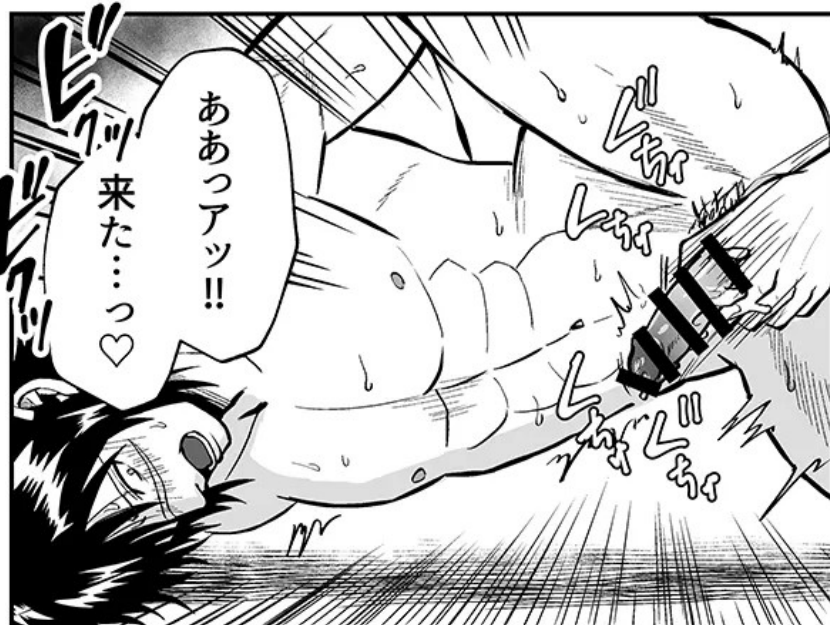
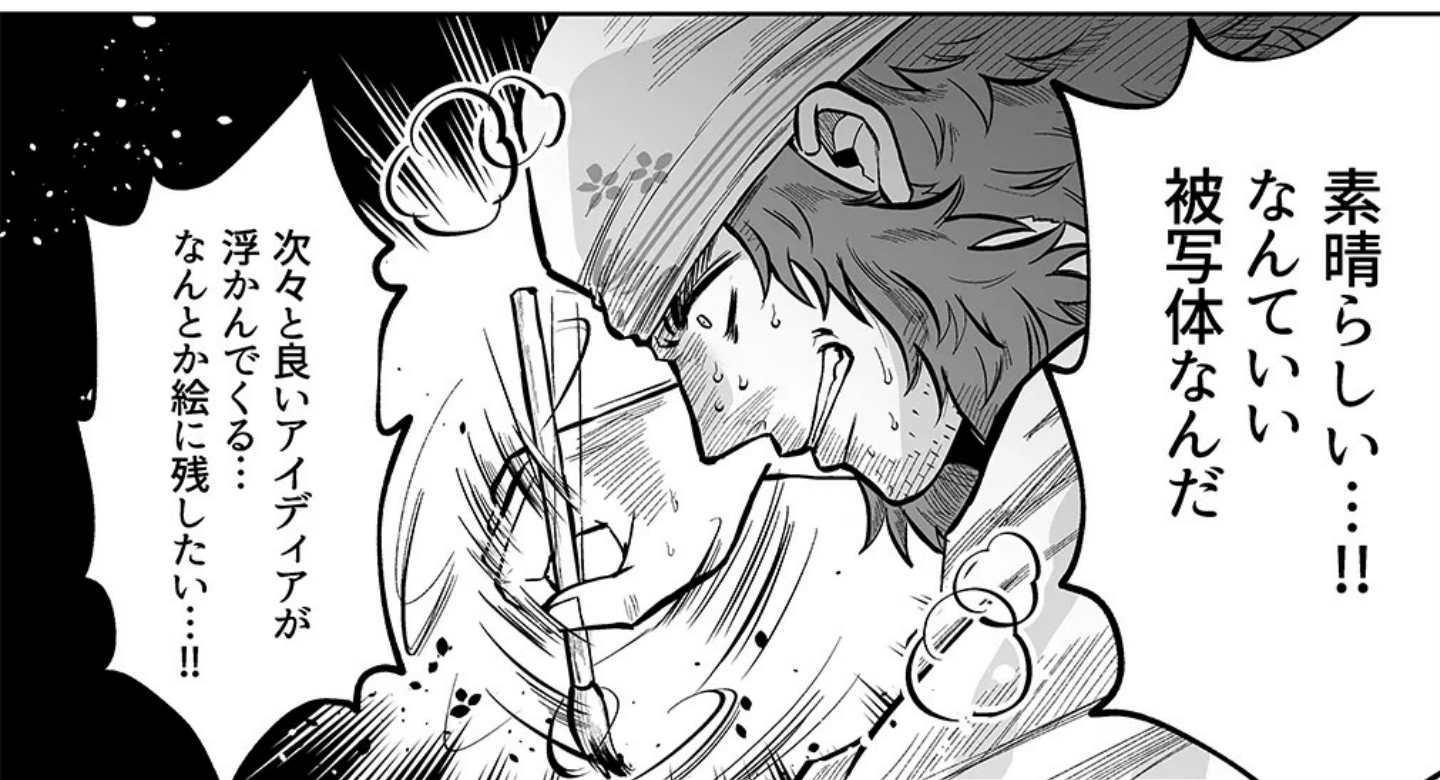


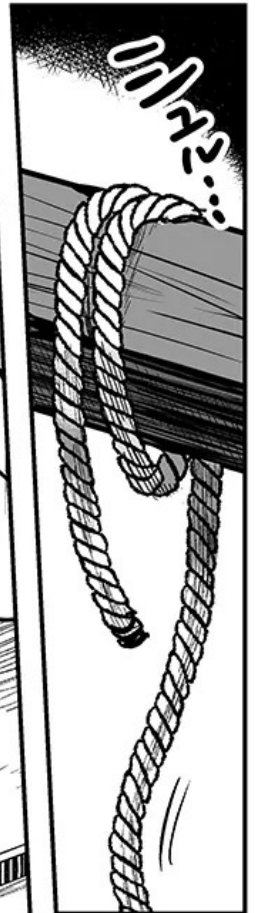
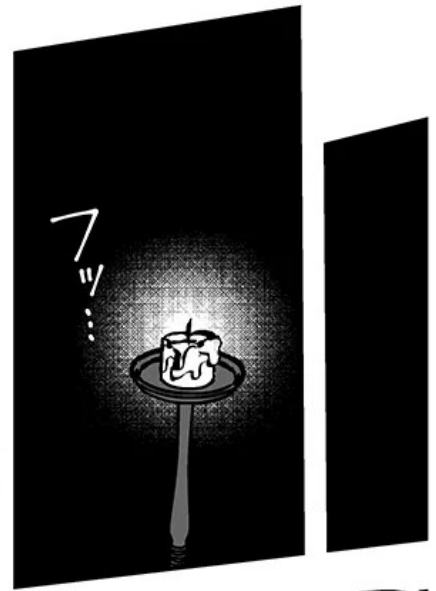
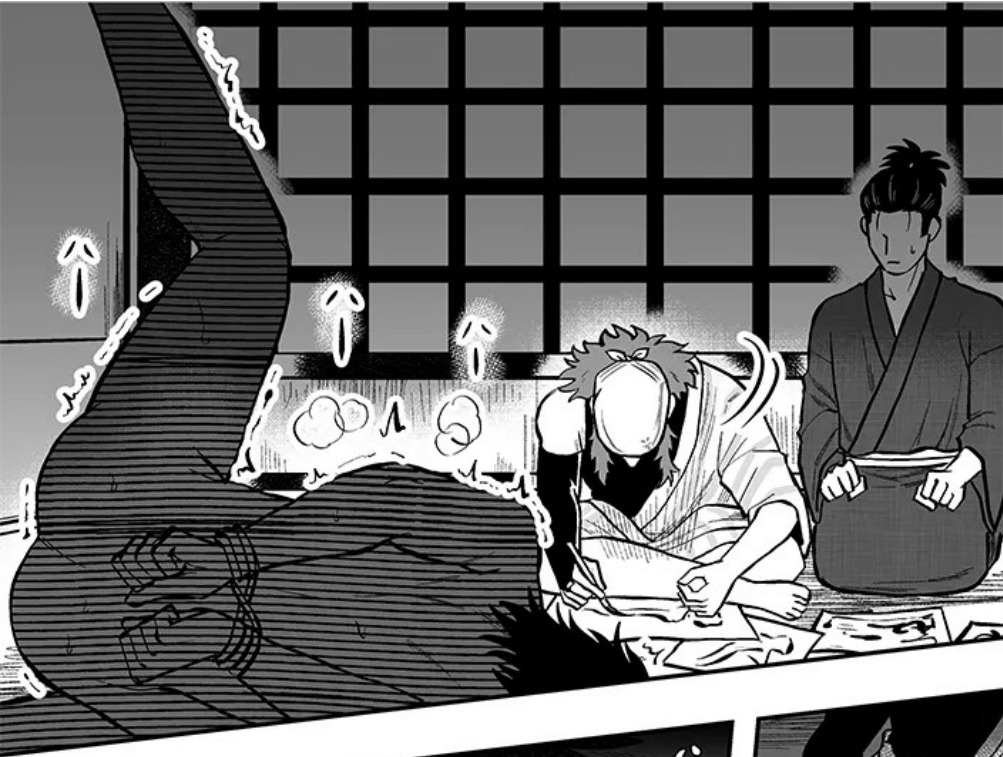
開いた状態で上に
縛りつける!!

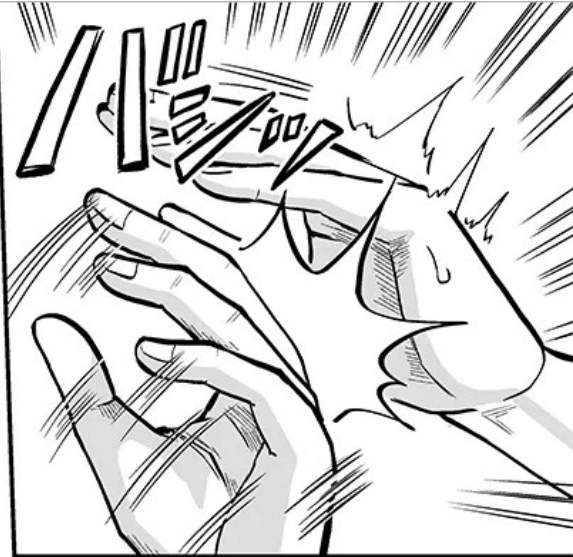
離せっ
嫌だ







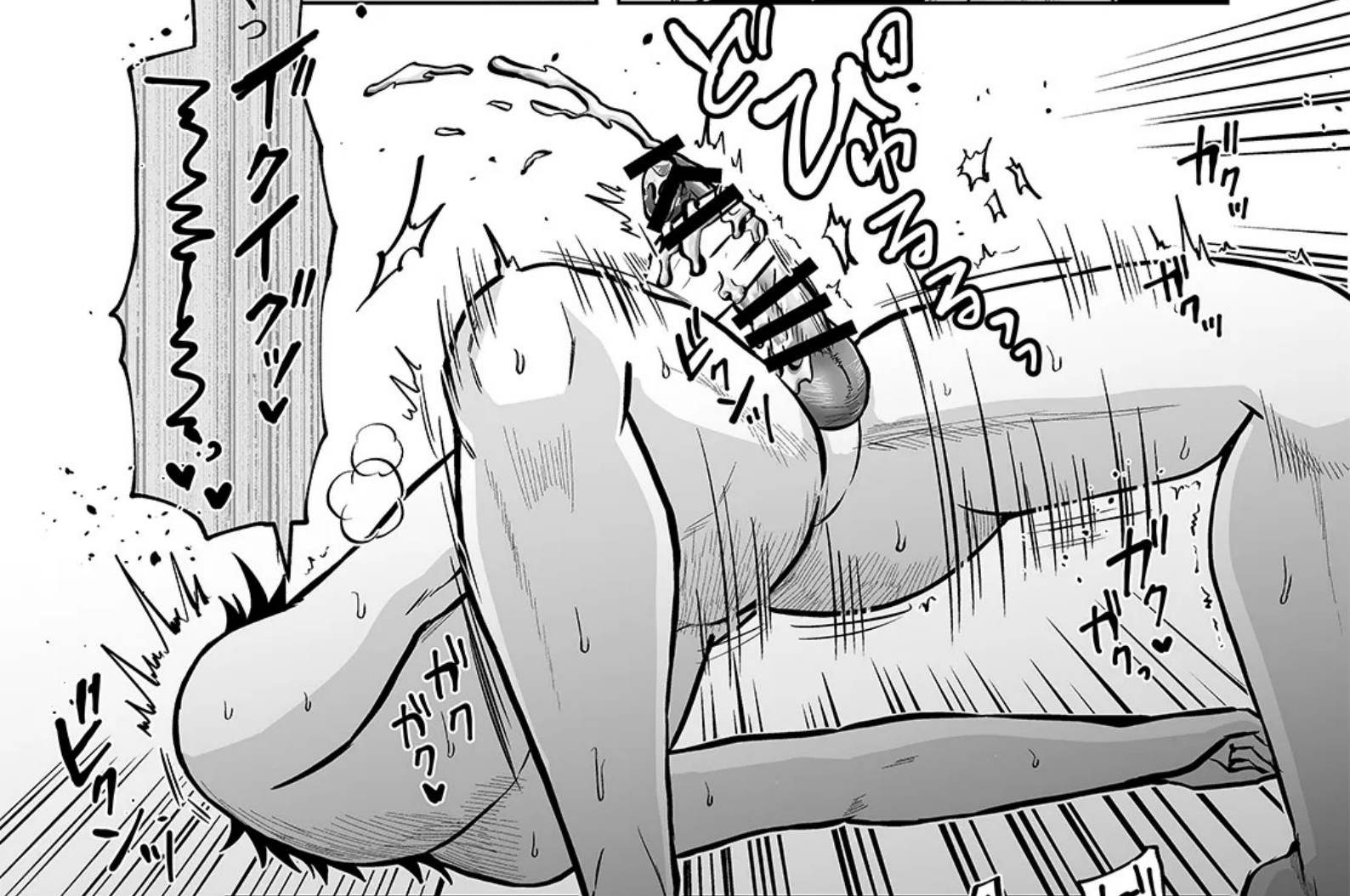






もう出る…
いっぱい精液
出る…♡

オッおおっ♡



腰ツ突き抜ける…



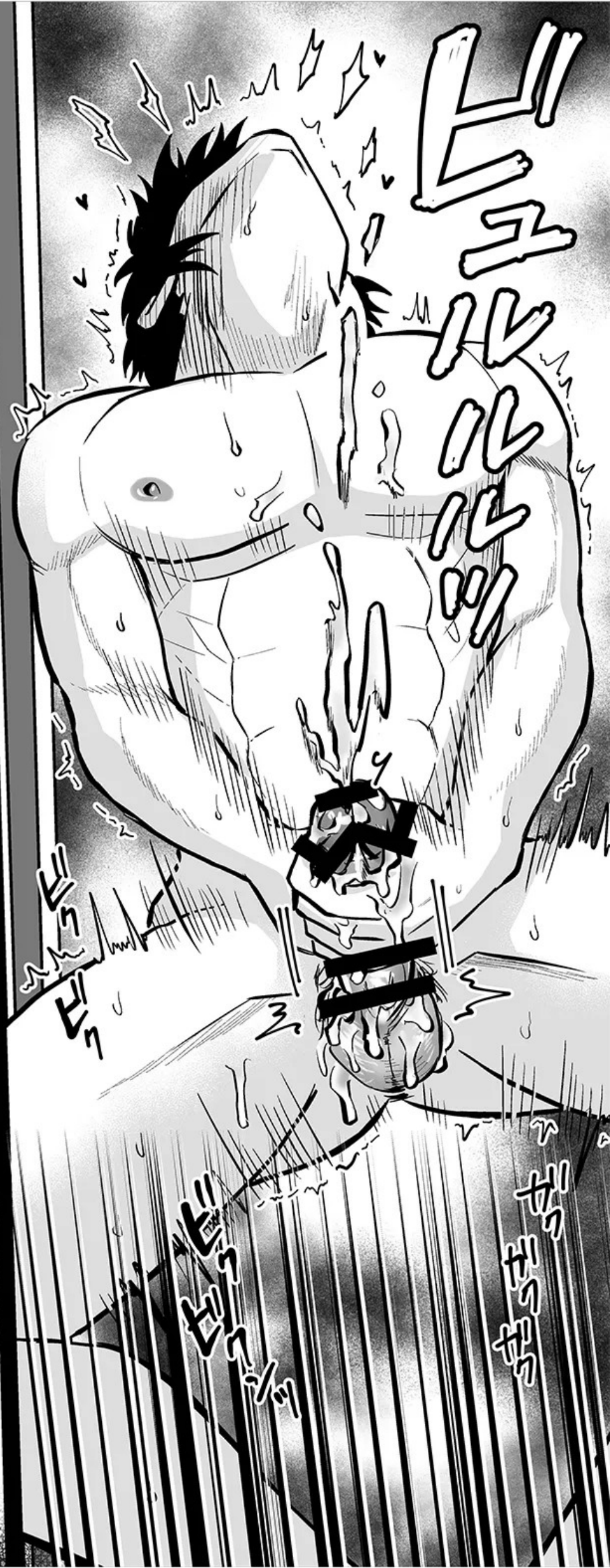


次は赤い縄、
いや、

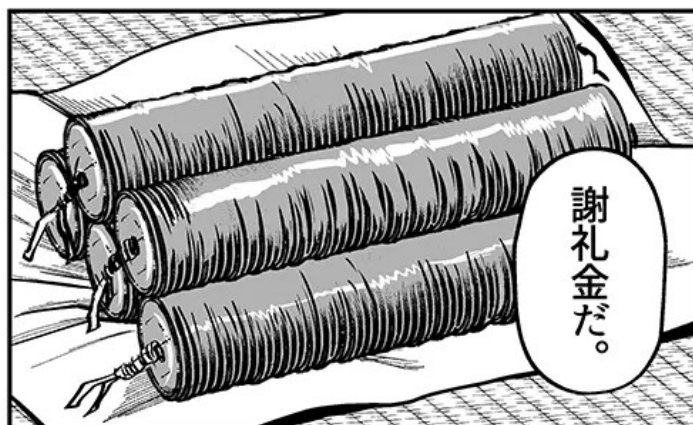
よがり泣かせる
のも良いだろう

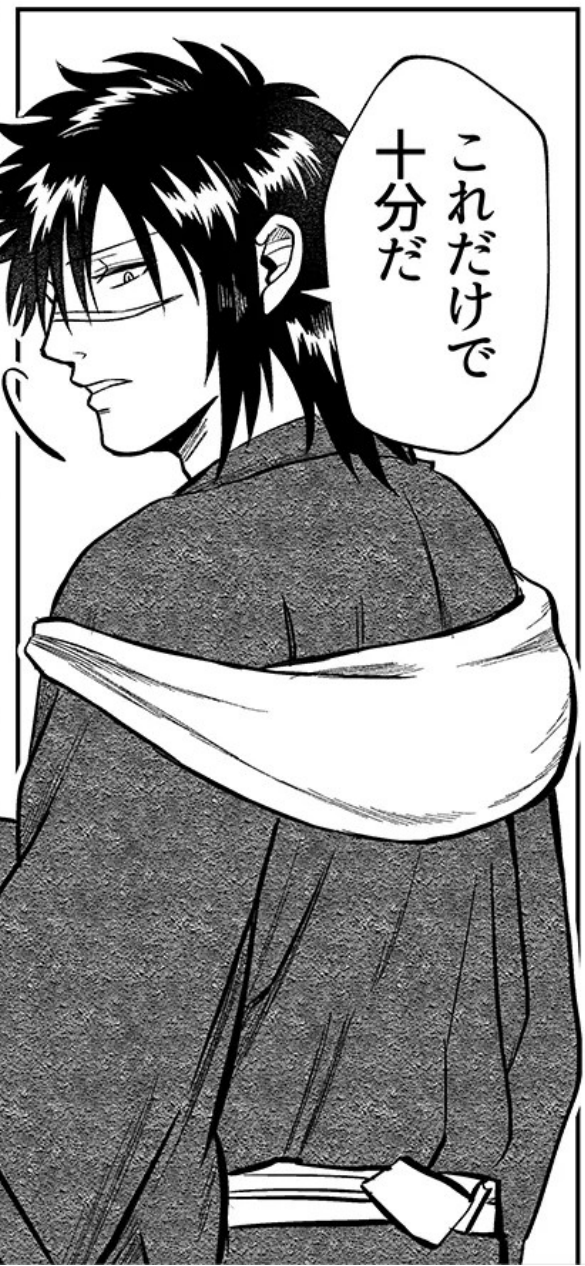


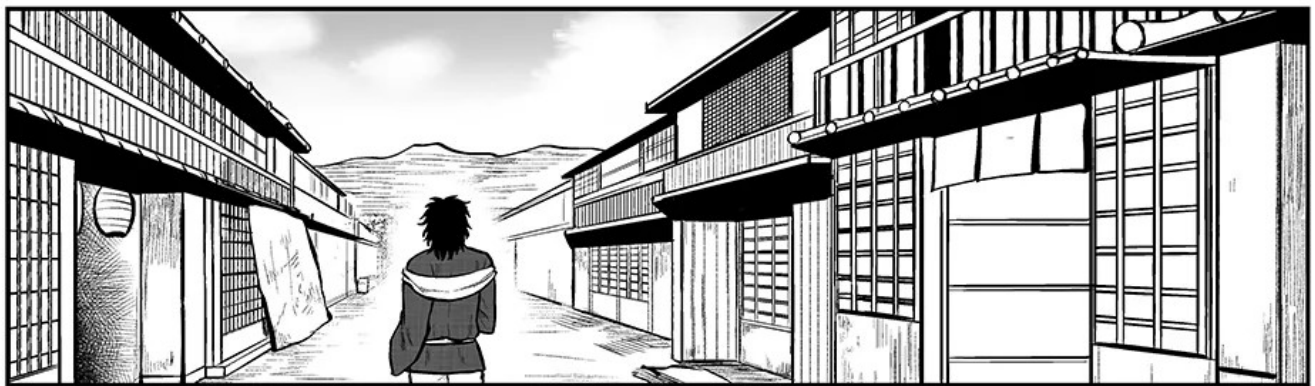
ああ…
まだまだ彼を
描きたいのう













それとも

酷く痛めつけて
調教すべきか…。



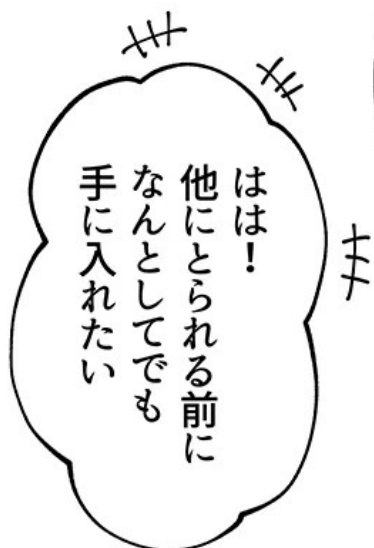
それにしても
あの以蔵どのの
手負いのような
雰囲気は…

あれは、
優しく手当をし
手懐けるべきか



えっ!?

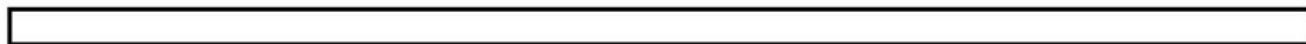
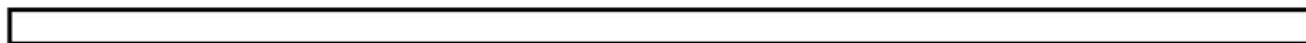
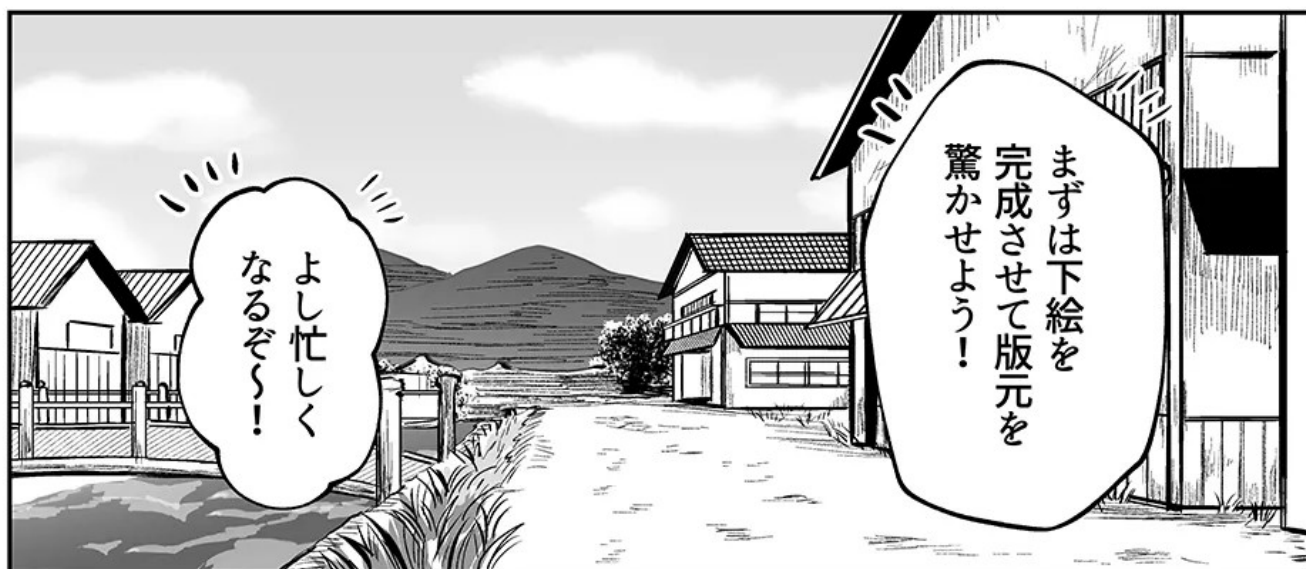
お、俺には
わかりません



はは!
他にとられる前に
なんとしてでも
手に入りたい



どちらが
輝くと思う?



変人絵師に
気に入られるように
なった